

2. 指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率		目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	53%				総合計画/後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の目標としているため			
活動指標	指標	a	浄化槽	b	農業集落排水	c	公共下水道	d	
	数値	目標	15,970人	目標	3,400人	目標	1,198人	目標	

3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H22	H23	H24
汚水処理人口普及率	%	45.6 %	48.1 %	53.2 %
		86.0 %	90.8 %	100.4 %

活動指標名	単位	H22	H23	H24
a 浄化槽	人	13,899 人	14,739 人	16,673 人
		87.0 %	92.3 %	104.4 %
b 農業集落排水	人	3,308 人	3,260 人	3,197 人
		97.3 %	95.9 %	94.0 %
c 公共下水道	人	1,189 人	1,199 人	1,196 人
		99.2 %	100.1 %	99.8 %
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
浄化槽の普及率は伸びているが、汚水処理人口普及率は、県下あるいは全国的に見ても下位に位置している。
対応（改善点等）
浄化槽の普及を促進するとともに、農業集落排水施設、公共下水道への接続を促進する。

5. 事業費・・・H22～H24（決算額）、H25（予算現額）

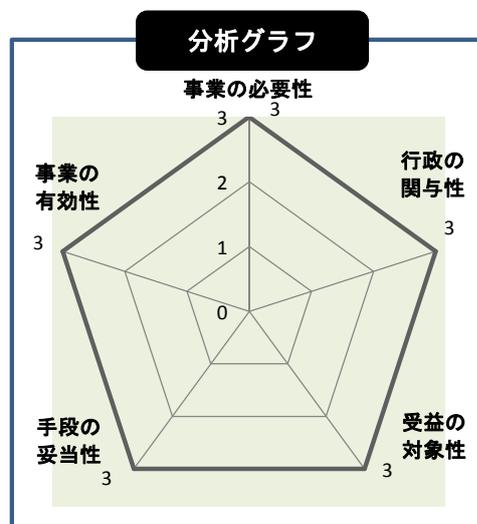
決算額（千円）		H22	H23	H24	H25
		239,868	281,158	434,233	232,872
うち経常経費		1,020	839	842	970
財源内訳	国費	24,839	34,318	76,618	7,121
	県費	22,586	31,458	49,924	23,995
	市債				
	その他				
	一般財源	192,443	215,382	307,691	201,756
うち経常		369	711	703	755
事業費に係る人件費		30,746	34,314	33,749	38,183
事業費に係る人役		7.02	7.32	7.86	7.86

6. H26年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
浄化槽設置者に対する補助金交付等一定の経費が必要となるため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 集合処理事業については、法令等により市が実施主体になることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全ての市民を対象とした事業として実施している。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 汚水処理人口普及率を向上させるために、生活排水処理事業を実施している。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 汚水処理人口普及率が伸びている。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	整備重点期間が終了したため、事業効果を検証し、引き続き効果的な事業実施を図ること。